



向陽STEAM教育講座「生物観察講座」

8月20日（火）、和歌山市新和歌浦の干潟（観海閣周辺）で「生物観察講座」を実施しました。高校希望者10名が参加し、和歌山県立自然博物館の平嶋健太郎氏を講師に迎え、干潟の生物について学びました。安全と熱中症に注意しながら、干潟の生物を採集し、それぞれの生物の性質や特徴について平嶋先生からいろいろと教わりました。以下、生徒の感想です。「先生に教えてもらったように、網で波打ち際をガサガサして魚やカニが入っていたときは楽しくてもっと探ろうと思いました。いろいろな種類の魚やカニ、エビが見れて良い経験になりました。」「普段では知ることのできない生物の種類などを知ることができて楽しかった。干潟だけでなく、いろいろな場所で採集したい。」「最近あまり見ることができなくなってしまった魚がいることも知れたので、改めて環境に配慮することの大切さがわかりました。」「未知の生物や生態を見れたり触れたりすることができて、生物への関心がより高まりました。」



南紀熊野ジオパーク探偵団の事後学習に参加！

8月20日（火）、南紀熊野ジオパークセンターが主催する「南紀熊野ジオパーク探偵団『海洋環境を考える』」の事後学習に、高校生5名、中学生4名の計9名が参加しました。まず、借り上げバスで和歌山駅を出発し、和歌山大学を訪問しました。到着後、名古屋大学博士課程教育推進機構の島村道代教授による「海洋ごみ調査において回収したペットボトルキャップを使ったアップサイクル実験」を受講しました。アップサイクルとは、製品の特徴を生かしつつ、新たな価値を与え、別のものを作り出すことです。今回は、ペットボトルキャップを細かく切り、型に詰めて、アイロンで溶かすことでオリジナルのキーホルダーを作成しました。昼休憩中には和歌山大学に通っている本校OBと少し交流することができました。生徒たちは熱心に活動を行っており、あっという間の2時間でした。午後からは花王株式会社の和歌山工場に移動し、花王株式会社のエコラボミュージアムを見学しました。現地では、花王株式会社研究戦略・企画部兼コーポレート戦略部門コーポレートカルチャー部齋藤明良氏や職員の方に花王の商品やリサイクル、エコ等について解説していただきました。

